

『初歩からプロフェッショナルを目指す 連結決算・開示の実務  
－財務報告実務検定【連結実務演習編】標準レベル試験公式テキスト－』  
(日本 IPO 実務検定協会監修／株式会社アクリア編／平石智紀・中本峻佑・藤橋 直著)  
お詫びと訂正のお知らせ

本書において、下記のとおり誤りがございました。読者の皆さまにご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、本書をご利用くださいますようお願い申し上げます。

頁	訂正箇所	誤	
143	仕訳	(借)利益剰余金当期首残高 9,000	(貸)売上原価 9,000 <sup>(*1)</sup>
		(借)売上原価 7,000	(貸)商品 7,000 <sup>(*2)</sup>
		(借)非支配株主に帰属する 当期純損益 400 <sup>(*3)</sup>	(貸)非支配株主持分当期変動額 400
		正	
155	仕訳	(借)利益剰余金当期首残高 9,000	(貸)売上原価 9,000 <sup>(*1)</sup>
		(借)非支配株主持分当期首残高 <u>1,800</u>	(貸)利益剰余金当期首残高 <u>1,800</u>
		(借)売上原価 7,000	(貸)商品 7,000 <sup>(*2)</sup>
		(借)非支配株主に帰属する 当期純損益 400 <sup>(*3)</sup>	(貸)非支配株主持分当期変動額 400
155	仕訳	誤	
		(借)備品売却益 2,400 <sup>(*1)</sup>	(貸)備品 2,400
		正	
		(借)備品売却益 2,400 <sup>(*1)</sup>	(貸)備品 2,400
		(借)非支配株主持分当期変動額 <u>960</u>	(貸)非支配株主に帰属する 当期純損益 <u>960</u>
頁	訂正箇所	誤	正
187	株主資本等 変動計算書	<u>203,480</u>	<u>205,180</u>
218	3行目	その他有価証券評価差額金 <u>150</u> <sup>(*5)</sup> を除いた <u>4,970</u> を売却持分とします。	その他有価証券評価差額金 <u>120</u> <sup>(*5)</sup> を除いた <u>5,000</u> を売却持分とします。
	仕訳	(借)	(借)

		その他有価証券評価 差額金当期変動額 <u>150</u> <sup>(*5)</sup> 関係会社株式 4,200 <sup>(*6)</sup> 関係会社株式売却益 750 資本剰余金当期変動額 <u>20</u> <sup>(*7)</sup>	その他有価証券評価 差額金当期変動額 <u>120</u> <sup>(*5)</sup> 関係会社株式 4,200 <sup>(*6)</sup> 関係会社株式売却益 750 資本剰余金当期変動額 <u>50</u> <sup>(*7)</sup>																								
	(*5)	支配獲得後その他有価証券評価差額 $\text{金 } 1,500 \times \frac{\text{売却比率 } 8\%}{\text{売却前持分比率 } 80\%} = 150$	支配獲得後その他有価証券評価差額 $\text{金 } 1,200 \times \frac{\text{売却比率 } 8\%}{\text{売却前持分比率 } 80\%} = 120$																								
	(*7)	売却価額 4,950 - (非支配株主持分増 加額 5,120 <sup>(*4)</sup> - <u>150</u> <sup>(*5)</sup> ) = <u>△20</u>	売却価額 4,950 - (非支配株主持分増 加額 5,120 <sup>(*4)</sup> - <u>120</u> <sup>(*5)</sup> ) = <u>△50</u>																								
219	連結株主資本等変動計算書	資本剰余金当期変動額 <u>20</u> <sup>(*7)</sup> 資本剰余金当期末残高 <u>24,980</u> その他有価証券評価 差額金当期末残高 <u>15,050</u> その他有価証券評価 差額金当期変動額 <u>5,050</u> <sup>(*9)</sup>	資本剰余金当期変動額 <u>50</u> <sup>(*7)</sup> 資本剰余金当期末残高 <u>24,950</u> その他有価証券評価 差額金当期末残高 <u>15,080</u> その他有価証券評価 差額金当期変動額 <u>5,080</u> <sup>(*9)</sup>																								
	(*9)	P社 4,000 + S社 1,500 - 連結修正仕 分(300 <sup>(*3)</sup> + <u>150</u> <sup>(*5)</sup> ) = <u>5,050</u>	P社 4,000 + S社 1,500 - 連結修正仕 分(300 <sup>(*3)</sup> + <u>120</u> <sup>(*5)</sup> ) = <u>5,080</u>																								
	連結貸借対照表	資本剰余金 <u>24,980</u> その他有価証券評価差額金 <u>15,050</u>	資本剰余金 <u>24,950</u> その他有価証券評価差額金 <u>15,080</u>																								
225	13行目	当期に実際に支払う法人税等は <u>1,200</u> ですが、会計上の利益に対応した法人税等は <u>1,000</u> です。会計上の利益に対応した法人税等の金額(750)に比べ、実際に支払う法人税等が <u>200</u> 多 いです。	当期に実際に支払う法人税等は <u>900</u> ですが、会計上の利益に対応した法人 税等は <u>750</u> です。会計上の利益に対応 した法人税等の金額(750)に比べ、実 際に支払う法人税等が <u>150</u> 多 いです。																								
	下から3行目	翌期は、会計上の利益に対応した法 人税等は <u>1,200</u> ですが、実際に支払う 法人税等は <u>1,000</u> です。会計上の利益 に対応した法人税等の金額に比べ、実 際に支払う法人税等が <u>200</u> 少 ないです。	翌期は、会計上の利益に対応した法 人税等は <u>900</u> ですが、実際に支払う 法人税等は <u>750</u> です。会計上の利益に 対応した法人税等の金額に比べ、実 際に支払う法人税等が <u>150</u> 少 ないです。																								
226	損益計算書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>借方</th> <th>P社</th> <th>S社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>諸費用</td> <td>70,000</td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td>法人税等</td> <td><u>12,000</u></td> <td><u>4,000</u></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>18,000</td> <td>6,000</td> </tr> </tbody> </table>	借方	P社	S社	諸費用	70,000	35,000	法人税等	<u>12,000</u>	<u>4,000</u>	当期純利益	18,000	6,000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>借方</th> <th>P社</th> <th>S社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>諸費用</td> <td>70,000</td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td>法人税等</td> <td><u>9,000</u></td> <td><u>3,000</u></td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>21,000</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table>	借方	P社	S社	諸費用	70,000	35,000	法人税等	<u>9,000</u>	<u>3,000</u>	当期純利益	21,000	7,000
借方	P社	S社																									
諸費用	70,000	35,000																									
法人税等	<u>12,000</u>	<u>4,000</u>																									
当期純利益	18,000	6,000																									
借方	P社	S社																									
諸費用	70,000	35,000																									
法人税等	<u>9,000</u>	<u>3,000</u>																									
当期純利益	21,000	7,000																									

		合 計	100,000	45,000	合 計	100,000	45,000
227	下から 6 行 目	1. 期末商品の未実現損益の調整により、「売上原価」が 12,500 減少しました。その結果、税引前利益が 12,500 増加するため、税金費用も 5,000 増加させることで、			1. 期末商品の未実現損益の調整により、「売上原価」が 12,500 増加しました。その結果、税引前利益が 12,500 減少するため、税金費用も 5,000 減少させることで、		
234	仕訳	<b>誤</b>					
		(借)機 械 売 却 益	10,000 <sup>(*1)</sup>		(貸)機 械	10,000	
		(借)減 価 償 却 累 計 額	2,500		(貸)減 価 償 却 費	2,500 <sup>(*2)</sup>	
		(借)繰 延 税 金 資 産	2,250		(貸)法 人 税 等 調 整 額	2,250 <sup>(*3)</sup>	
		<b>正</b>					
		(借)利益剰余金当期首残高	10,000 <sup>(*1)</sup>		(貸)機 械	10,000	
		(借)減 価 償 却 累 計 額	2,500		(貸)利益剰余金当期首残高	2,500 <sup>(*2)</sup>	
		(借)繰 延 税 金 資 産	2,250		(貸)利益剰余金当期首残高	2,250 <sup>(*3)</sup>	
289	連結株主資 本等変動計 算書	<b>誤</b>					
		資本金当期首残高	240,000				
		<b>正</b>					
		資本金当期首残高	200,000				
		資本金当期変動額	40,000				
317	仕訳	<b>誤</b>					
		(借)売 上 高	3,500		(貸)電 気 機 器 売 上 高	2,000	
					機 械 装 置 売 上 高	1,500	
		(借)電 気 機 器 売 上 原 価	1,200		(貸)売 上 原 価	2,200	
		機 械 装 置 売 上 原 価	1,000				
		<b>正</b>					
		(借)電 気 機 器 売 上 高	2,000		(貸)売 上 高	3,500	
		機 械 装 置 売 上 高	1,500				
		(借)売 上 原 価	2,200		(貸)電 気 機 器 売 上 原 価	1,200	
					機 械 装 置 売 上 原 価	1,000	

以上